

# 第 2 号

# えびなの教育

発行 年 3 回・12500 部  
 編集・発行 海老名市教育委員会  
 〒243-0492 海老名市勝瀬 175-1  
 ☎046 (231) 2111



昨年 12 月 22 日、新しい教育委員長と教育長が就任しました。今回は、新体制となった教育委員の皆さんの紹介と、市教育委員会の各種取り組みについてお知らせします。

### 《主な内容》

- 2・3 面 いじめへの取り組み
- 4 面 生活習慣調査結果  
食の創造館の取り組み  
教育委員会点検評価報告書

▲写真左から、瀬戸清規教育長・海野恵子教育委員長・田中裕子委員・平井照江教育委員長職務代理者・松樹俊弘委員



### 教育委員長あいさつ

12 月 22 日、教育委員長に就任いたしました海野恵子（うんの けいこ）と申します。

昨今、教育に関わる事件・事故が起こるたびに、教育委員会の形骸化が指摘されています。それは、委員の負うべき役割が果たされていないまま、事務事業が進められているというものです。

海老名市教育委員会では、私たちが、事務局から事務事業の説明を受け、課題の解決や今後の方向性を協議する場を定期的に設けるなど、委員と事務局が一体となって、より良い教育委員会を作る努力を始めています。

私は教育の専門家ではありませんが、女性、母親としての視点から、教育委員長としての職責を果たしてまいりたいと思います。保護者の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



### 教育長あいさつ

12 月 22 日、教育長に就任いたしました瀬戸清規（せと きよのり）と申します。

私は 36 年間、海老名市の職員として行政に携わってまいりました。これからは、いままで培った行政経験を、教育の場に生かしていきたいと思っています。

さて、教育長として、市内の約 1 万人を超える小・中学生と、その数倍の家族の方々に対し、責任を負うこととなります。その仕事の重大性と責任の重さに、身の震える思いです。

何かと至らぬ面もあるかと思いますが、子どもたちのために、誠心誠意頑張ってまいりたいと思っています。保護者の皆様からのご助言を賜り、糧としていきたいと思っていますので、何卒、ご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

# 市教育委員会の いじめへの取り組み

市教育委員会では、いじめに対する方針・対策を定めています。2・3 面では、いじめ問題への、学校や市教育委員会の具体的な取り組みをお知らせします。



他県で発生した中学生の自殺事件など、いじめ問題は、全国的に社会問題となっています。

こうした問題を受け、市教育委員会では、いじめ問題の解決に向けた方針を確認するとともに、具体的な対策を協議しました（下表参照）。

いじめは、どの子どもにも、どの学校でも起こり得るものと考えています。こうしたいじめを未然に防ぐためには、いじめが発生しにくい学校作

りが大切です。

このため、「いじめは決して許さない」という学校の体制を整えるとともに、教職員は、児童・生徒への理解を深めながら信頼関係を築き、一人一人を大切にされた教育活動を行います。また、他人を思いやる心・正義を重んじる心を持つこと、互いの違いを認め合う人権教育などを指導していきます。

いじめ問題の解決は、学校・家庭・地域が連携した取り組みが必要であると考えています。皆様のご理解・ご協力をお願いします。

## 《いじめに対する方針》

- 「心の教育」の充実を図る
- 早期発見、早期対応に努める
- 関係機関との連携を図る



## 《具体的な対策》

- 毎年、年度初めに上記方針を全教職員で確認する
- 生命や人権を大切にする指導などを充実させるため、毎年、全教職員で研修を実施する
- 毎学期、児童・生徒からアンケート調査を実施する
- 場合によっては、生徒会等と教師が連携して、いじめに対応することを視野に入れる

## 文部科学省による

### いじめの定義

- ①一定の人間関係のある者から
  - ②心理的・物理的な攻撃を受けたことにより
  - ③精神的な苦痛を感じているもの
- ※いじめの発生場所は、学校の内外を問わない



## 〔参考資料〕いじめの態様

（平成 23 年度神奈川県調査結果）

単位：％〔構成比〕

小・中学校ともに「①冷やかしゃ、からかい等、嫌な事を言われる」が半数以上を占め、次いで、「②軽くぶつかられる、叩かれる、蹴られる」「③仲間外れ、無視をされる」が多くなっています（右表）。

平成 18 年度からは新たに、「⑦パソコンや携帯電話等に「⑦パソコンや携帯電話等による誹謗中傷」が追加され、結果は、小学校で 1.8％、中学校で 4.8％と、一定の割合を占めています。

いじめの態様 調査項目	小学校	中学校
①冷やかしゃ、からかい、悪口や脅し文句、嫌な事を言われる	67.2	60.1
②軽くぶつかられる、遊ぶふりをして叩かれる、蹴られる	22.7	15.9
③仲間外れ、集団による無視をされる	19.1	13.1
④金品を隠される、盗まれる、壊される、捨てられる	7.1	8.9
⑤嫌な事や恥ずかしい事、危険な事をされる、させられる	5.6	6.3
⑥ひどくぶつかられる、叩かれる、蹴られる	4.9	6.5
⑦パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる	1.8	4.8
⑧金品をたかられる	1.8	2.7
⑨その他	3.1	2.4

【数値（構成比：％）の説明】各項目で教職員が認知している件数に対する割合。

回答は複数選択のため、構成比の合計は 100%を超える



いじめ早期発見・早期対応 家庭用チェックリスト

- 学校のことをあまり話さなくなった
- 朝から体の不調を訴え、登校をしづらくなった
- 理由のはっきりしない衣服の汚れや破れが見られるようになった
- 理由のはっきりしないあざや、けが（殴られた跡）がある
- 教科書やノートに落書きをされたり、破られたりするようになった
- 家族との会話が減ったり、学校的话题を意図的に避けたりするようになった
- 登校時間になると、体調不良を訴えることがよくあるようになった
- 家族と過ごすことを避け、部屋に一人であることが多くなった
- 食欲がなくなった
- これまで仲のよかった友達との交流が極端に減った
- 友だちからの電話に出たがらなかったり、遊びの誘いを断ったりするようになった
- 友だちからの電話で、急に外出することが増えた
- 家から品物やお金を持ち出したり、金品を要求したりするようになった
- 「引っ越しをしたい」「転校したい」と言うようになった
- 家で買い与えた物ではない物を持っている



学校では、保護者からの連絡帳や家庭用チェックリスト（左表）を活用することで、子どもたちの家庭での変化を把握し、適切な指導・支援をすることができます。  
保護者の皆さんは、チェックリストを参考に、子どもたちの状態を観察し、その結果、該当項目があり、それが度重なるようであれば、担任の教職員などへご相談ください。



ご活用ください

家庭用チェックリスト

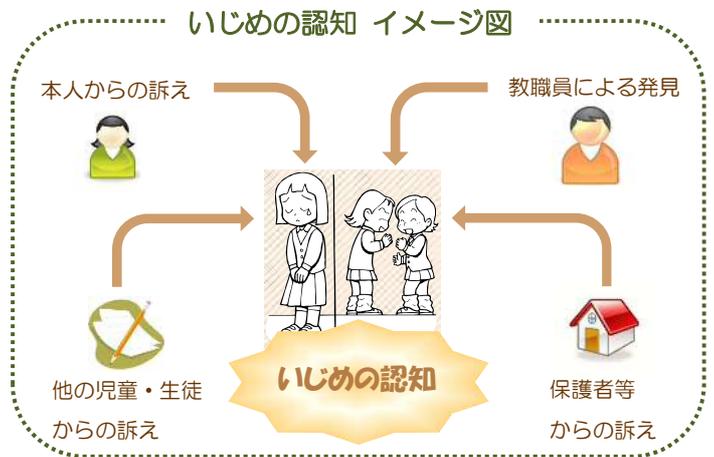


いじめの早期発見

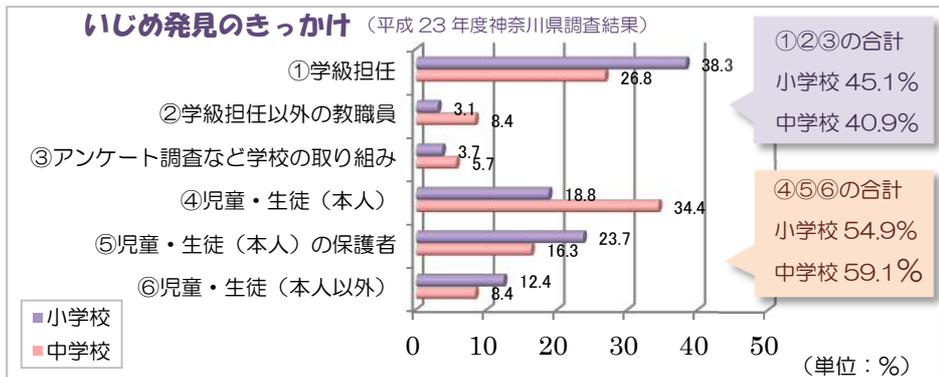
多面的な情報から認知

学校では、いじめを許さない学校作りを進めるとともに、児童・生徒が発する小さなサインを見逃さないよう、日ごろから児童・生徒への理解を進め、早期発見に努めています。

いじめの認知は、「本人からの訴え」「教職員による発見」「他の児童・生徒からの訴え」「保護者等からの訴え」などに分けられます（右図）。こうした多面的な情報から、迅速にいじめを認知し、いじめの解消に向けて的確に対応します。



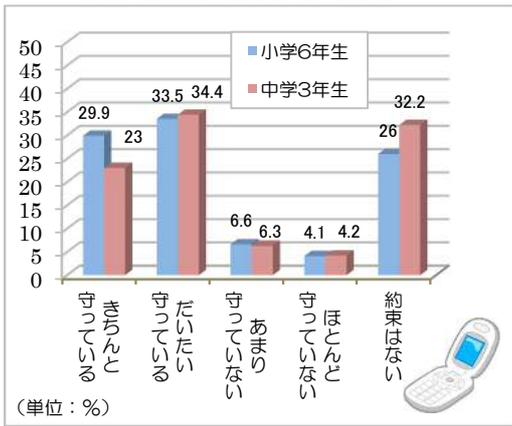
いじめ発見のきっかけ（平成 23 年度神奈川県調査結果）



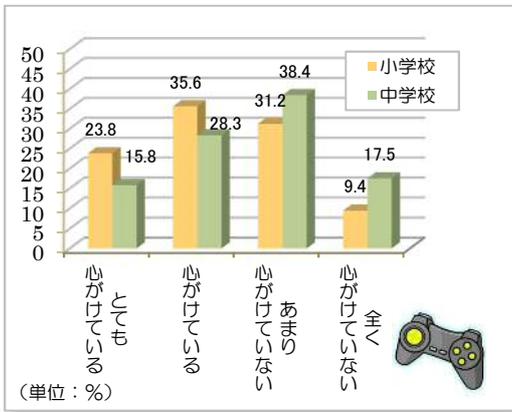
調査結果によると、いじめを発見したきっかけは、小学校で「①学級担任」(38.3%)、中学校で「④児童・生徒（本人）」(34.4%)が最も多くなっています。

また、学校の教職員等（①②③）と、教職員以外（④⑤⑥）を比較すると、教職員以外の情報による発見が半数以上を占めています。

【表 1】携帯電話・テレビ・ゲームの使い方について  
家の人との約束を守っていますか



【表 2】テレビ・ゲームの時間を決めることについて



◆約3割が「使い方の約束なし」  
小学6年生では、約4割が「1日に3時間以上テレビを見る」と回答しています。こうしたテレビやゲーム、携帯電話などの使い方について、表1を見ると、大半の子どもは、家

の人との約束を守っています。しかし、「約束はない」という回答も、小学6年生で26%、中学3年生で32.2%でした。  
また、テレビなどの使用時間を決めることへの意識調査(保護者対象)では、「あまり心がけていない」「全く心がけていない」の合計が、小学校40.6%、中学校55.9%と、ほぼ半数を占めています(表2)。  
◆家族で一度話し合いを  
テレビやゲームなどに夢中になり過ぎると、知らないうちに長い時間を費やしてしまいます。その結果、食事や勉強など、他のことをする時間が少なくなったり、寝る時間が遅くなったりして、基本的な生活習慣の乱れにつながる可能性があります。テレビなどの使い方・使用時間について、約束を決めるなど、家族で一度話し合ってみてください。

市教育委員会では、「学び合い・思いやり・元気なえびなっ子プラン」の取り組みの一環として、市内小中学校の児童・生徒と保護者を対象に、生活習慣のアンケート調査を行いました(今年5月～7月実施)。  
この中で今回は、「携帯電話・テレビ・ゲームなどの使い方」についてお知らせします。

携帯電話  
テレビ  
ゲーム

約束を決めて  
使いましょう



### 教育委員会の事務

点検評価報告書を公開しています

市教育委員会では、毎年、教育行政事務の内容について点検・評価を行い、その報告書を作成しています。これは、前年の事業執行状況について、教育に関する学識・経験を持つ方々の意見や助言を得た上で、教育委員会が評価・作成するものです。

今回は、市の教育理念である「ひびきあう教育」の推進に向けた事業から、11 施策 22 事業を抽出し、評価を行いました。多様な教育の展開、青少年の育成など、教育委員会の事業内容と、その効果について確認できますので、ぜひご覧ください。報告書は、市役所・市ホームページで公開しています。



次号の「えびなの教育」は4月発行です

【お詫び】前号の「えびなの教育」で、第2号の発行日を「12月20日」と記載しましたが、「1月1日」発行となったことを、お詫び申し上げます。

### 食の創造館の取り組み

～米飯給食回数の拡大  
災害時炊き出し施設としての活用～



食の創造館では、新たに米飯調理設備を備えています。館内では、3700食分の米の炊飯ができることなどから、米飯給食回数を週2回から4回へ拡大して、炊きたての温かいご飯を届けています。

さらに、米飯の回数増加による食べ残しを増やさないため、食が進むような、多彩な米飯メニューの工夫もしています(左下写真)。

また、10月28日開催の地域防災訓練に、非常食として豚汁500食を提供するなど、災害時の炊き出し施設としても活用していきます(右写真)。



～米飯メニューの一例～

#### えび～にゃカレーライス

地元産の野菜で作ったカレーに、えびフリッターをのせています。このほか、「キムタク丼(キムチ・たくあん・豚肉の煮込み丼)」「菜飯」なども提供しています。